

令和2年度

屋久島町だいき基金 活用報告

今年度も屋久島を応援して下さる全国の皆様から、計 341,730,200 円のご寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。

いただいた寄附金については、屋久島町だいき寄附条例に基づき、屋久島町だいき基金に積立をし、個性豊かな活力あるまちづくりに資することを目的に、以下の事業に活用させていただきましたのでご報告いたします。

地域の環境保全に関する事業

【ウミガメ保護監視業務委託業務】

永田浜は絶滅危惧種とされるアカウミガメの繁殖地として世界的にも有名な場所であることから、ラムサール条約にも登録されており多くの観光客が訪れ観察会が行われている。(令和3年度新型コロナ感染拡大防止策として観察会中止)、永田浜におけるウミガメの新たな保護と活用の仕組みづくりの一環として、ウミガメの産卵に限定しない観察会の実施、保護調査の支援を行うとともに、暗闇でもウミガメの様子を観察することができる、観察用ライブカメラを購入し、ウミガメが安心して上陸、産卵できる環境を整えました。



【小型焼却炉送風機修繕事業】

山岳部における環境保全や避難小屋等の、し尿搬出経費、維持管理費経費削減の為、携帯トイレの携行を推奨し、麓まで持ち帰った携帯トイレを焼却処理しているが、焼却炉が故障し使用できなくなっていたので修繕を行いました。



【山岳保全用車両購入】

山岳部での避難小屋やトイレの管理、マナー指導等の環境保全に関する業務の安全性の向上及び効率化を図るため、悪路走破性が高く、ある程度の荷物の積載量も兼ねた車両を購入し活用しています。



地域の消防・防災対策に関する事業

【山岳遭難隊装備品整備及び山岳部災害用備蓄食料購入事業】

山岳捜索隊員の安全確保を第一に、迅速・円滑な捜索活動が行えるよう、山岳捜索隊装備品の更新と新規隊員の装備品を購入した。また、令和元年5月18日の集中豪雨による道路崩壊で荒川登山口に孤立した登山者が利用した備蓄食料の補充と、主要登山口に食事や防寒対策ができる災害備蓄セットを配置しました。



子育てや教育に関する事業

【町立幼小中学校AED設置事業】

町内の幼・小・中学校に設置しているAEDは、既に10年以上経過している物がほとんどであり、緊急時に正常作動しない不安があることから、AED及び保管用収納ボックス合計13台を購入しました。



【すこやかベビー出産祝金事業】

少子化対策及び子育て家族の支援を目的に、第1子及び第2子の出産祝金として50,000円、第3子以降100,000円を支給しています。

※令和2年度実績

| | | |
|----------|-----|---------|
| 第1子及び第2子 | 54人 | 2,700千円 |
| 第3子以降 | 23人 | 2,300千円 |

地域の活性化に関する事業

【外国人向け観光PR事業】

国内旅行者が減少する中、訪日外国人旅行者は増加傾向であるが、さらなる外国人誘客施策として外国人向けに、屋久島の類まれな自然環境、山岳信仰文化、自然体験アクティビティに加え、里の文化や水循環など持続可能な観光資源の活用の要素を取り入れた動画と、WEBページを作成し、本町の認知度向上及び誘客促進を図りました。

WEB ページ

<https://yakushima-journey.com/>

動画サイト (YouTube)

<https://www.youtube.com/channel/UCLg8ZCZ08g-D7pJx4albjSQ>

【集落の活力アップ事業】

町内の集落が身近な地域課題を自主的に解決し、自らの判断と創意工夫により地域社会を維持発展させるために行う活動に対して助成をすることにより、住民自治の振興および町民協働のまちづくりの推進並びに地域の均衡ある発展を図りました。

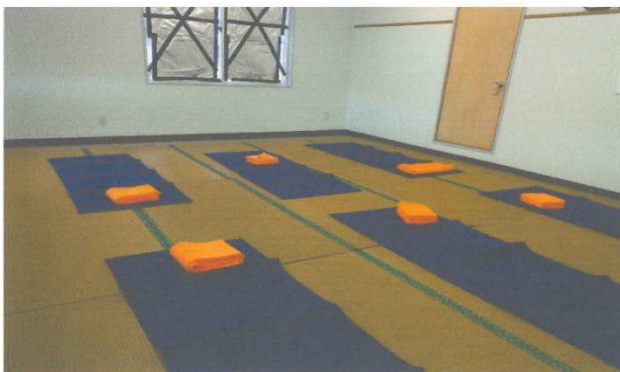
○非常用圧縮毛布 24 枚



○非常用備蓄マット 20 枚



○非常用圧縮毛布&非常用備蓄マット



※令和2年度志戸子集落は、この事業を活用し、台風や大雨等自然災害時に避難所となる公民館に非常用マットや毛布を購入しました